

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもコミュニティルーム たいよう			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		～	2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～	2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備において、子どもたちが活動しやすいスペースの確保、スタッフ配置をしている点。 (屋内・外運動スペース、学習スペース)	・屋内運動スペース床面をクッションマットから柔道たたみへ変更し、転倒時のけが予防に繋がる環境整備を行っている。 ・次亜塩素酸による空間除菌脱臭機を導入し、感染拡大予防に努めている。	・屋外運動スペース部分を人工芝やゴムチップ舗装等の変更にてケガの予防に繋がる取り組みを今後検討していきたい。
2	適切な支援の提供において、個々の特性を理解した上で、個別支援計画書を作成し、サポートを進めている点。	・モニタリングでの親御さんの意見、利用児童の普段の様子から見えてくる課題を計画書に反映している。 ・事業所内での活動プログラムが固定化されないよう、スタッフ間でミーティングを行い、四季折々の制作活動を行っている。	・新たな取り組みを介して個々の強み・弱みをより具体的に評価した上で、サポートを進めていく。
3	保護者への説明等において、日頃からコミュニケーションを大切にし、利用中の状況を説明するように心掛けている点。	・利用児童の表情や行動パターンを観察し、変化があった際は、適宜スタッフ間で情報共有を図り、親御さんへの引継ぎ時に伝えるよう努めている。	・利用時の様子において、見落としがないよう、各スタッフの観察能力を高めていける研修等を進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適切な支援の提供において、地域交流の機会が少ない点。	・土曜日開所の際、地域の公園や施設に出かける機会を設けているが、平日利用において、地域に出かける時間を設けられていないことが要因と考える。	・年間行事の一環として、地域交流を企画する。
2	保護者への説明等において、定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定が発信できていない点。	・適切な人員配置ができていなかったことが要因と考える。	・ホームページ・SNS等の担当者を決める。 ・2025年4月より、随時更新を進めていく。
3	保護者への説明等において、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を設けることができていない点。	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)についての知識不足が要因と考える。	・まずは家族支援プログラムについて社内研修を実施し、どのような内容で研修を開催するのか。また情報共有の機会をどのように進めていくのかを検討していく。